

阿賀野市グループウェアシステム賃貸借に係る
プロポーザル審査要領

令和7年6月

阿賀野市企画財政課デジタル化推進室

目次

1. 趣旨	1
2. 審査方法	1
(1) 一次審査(書類審査)	1
(2) 二次審査(プレゼンテーション及びデモンストレーション審査)	1
(3) その他	1
3. 評価点の配分	1
4. 採点方法	2
(1) 企画提案書の評価点	2
(2) 機能要件の評価点	2
(3) 見積価格の評価点	2
(4) プレゼンテーション及びデモンストレーションの評価点	3

1. 趣旨

本審査要領は、別紙「阿賀野市グループウェアシステム賃貸借に係るプロポーザル実施要領」に定める事項のうち、優先交渉権者を選定するための審査に係る評価項目等について、必要な事項を定めるものとする。

2. 審査方法

一次審査及び二次審査それぞれにおいて、阿賀野市グループウェアシステム賃貸借に係る公募型プロポーザル審査委員会（以下「委員会」という。）にて審査を実施する。

委員会の各委員は、提案者からの提案内容について採点し、それぞれ総得点及び順位を決定する。

（1）一次審査（書類審査）

- ・ 提案書類の内容による審査を行い、委員の合計総得点の高い順に、上位3者を選定し、一次審査通過者とする。
- ・ 提案者が1者の場合でも審査を実施し、委員の合計総得点が配点の60%以上であれば、一次審査通過者とする。

（2）二次審査（プレゼンテーション及びデモンストレーション審査）

- ・ 一次審査通過者のプレゼンテーション及びデモンストレーション並びに質疑応答の内容による審査を行い、一次審査と二次審査の総得点を合算し、その合計が最も高い順に、優先交渉権者、次点交渉権者とする。
- ・ 提案者が1者の場合でも審査を実施し、一次審査と二次審査の総得点を合算した点数が、配点の60%以上であれば、優先交渉権者とする。

（3）その他

- ・ 順位を決めるための点数が同じ場合は、各委員の審査で1位となった数で比較し、決定する。
- ・ 点数、1位となった数が共に同じ場合は、見積額が低い提案者を上位とする。

3. 評価点の配分

点数については、一次審査で700点、二次審査で300点の合計1,000点満点とし、得点配分については以下のとおりとする。

表1 評価点の配分

評価対象	配点	審査
企画提案書	400点	一次審査
機能要件確認書（様式6）	200点	
見積書（様式7）	100点	
プレゼンテーション及びデモンストレーション（質疑応答含む。）	300点	二次審査
合計	1,000点	

4. 採点方法

(1) 企画提案書の評価点

別紙「阿賀野市グループウェアシステム賃貸借に係るプロポーザル評価基準」(以下「評価基準」という。)を基に、次の評価項目について、委員会の各委員が評価を行う。

表2 企画提案書の評価項目

No.	評価項目	配点
1	業務実績等	30点
2	基本方針	40点
3	業務管理	40点
4	システム構成	30点
5	システム概要及び業務効率化	60点
6	セキュリティ対策	60点
7	職員研修	50点
8	システム運用支援及び保守対応	50点
9	契約期間満了後の対応	20点
10	自由提案	20点
合計		400点

(2) 機能要件の評価点

- ・ 機能要件確認書の各要件の回答について、項目毎に4段階で評価を行う。
- ・ 配点は、必要性の区分別で、必須機能に係る配点を2点、任意機能に係る配点を1点とする。
- ・ 回答内容に応じて、次の表の点数に、必要性区分別の配点を乗じたものを各項目の得点とする。

表3 機能要件の評価基準

回答	内容	点数
◎	パッケージの標準機能で対応できる(カスタマイズ等不要)。	1点
○	無償カスタマイズ又は標準機能による代替運用での対応が提案できる。	0.7点
△	有償カスタマイズでの対応が提案できる。	0.3点
×	対応不可	0点

- ・ 上記の内容を踏まえて、機能要件評価点の算出に当たっては、次のとおりとする。

$$\text{機能要件評価点} = (\text{機能要件採点結果} \div 400(\text{配点数合計})) \times 200$$

(3) 見積価格の評価点

見積書の価格に関する評価点の算出については、次のとおりとする。

見積価格評価点

$$= (\text{全見積書の最低価格} / \text{見積書の価格}) \times 100$$

(4) プレゼンテーション及びデモンストレーションの評価点

評価基準を基に、次の評価項目について、委員会の各委員が評価を行う。

なお、質疑に対する対応も評価に含めるものとする。

表4 プレゼンテーション及びデモンストレーションの評価項目

No.	評価項目	配点
1	全体像の把握	50点
2	説明内容の信頼性	50点
3	提案内容の実現性	60点
4	デモンストレーション	100点
5	追加提案	20点
6	質疑に対する対応	20点
合計		300点